

過剰な水分が除去された状態の体重」とするのが一般的と思われます。

どうして DW をきちんと決めておくことが大切なのでしょう。それは、心臓に負担をかけないためです。DW が本来の値よりも多すぎる (DW が甘い) と、水分が余っていることになります。この余っている水分の何割かは血管の中にあり、心臓に負担をかけるのです。反対に DW が本来の値よりも少なすぎる (DW がきつい) と、透析を行うたびに脱水になります。脱水状態になると血圧下降を来しやすく、心臓をはじめ、お体全体に負担をかけることになります。

## ●ドライウェイトの決め方



それではその DW をどのように決めるかですが、何か一つの指標から DW を決めることはできません。以下に列挙しますが、様々な指標や検査結果などから総合的に決めていきます。

### (1) 体調

平常時の血圧が高なくて、透析中や透析後に極端な血圧低下がない、透析後に強い倦怠感がない、むくみがない、透析中や直後の下肢攣れ (こむら返り) がない、などが目安となります。



### (2) 胸部レントゲン

心胸比が大きくない、肺うっ血や胸水がないことを確認します。心胸比は、何回か前のレントゲンと比較して大きくなってきていないことを確かめることも大切です。

